



杉並区

荻外荘の復原に向けてまた一步

2 . 1 0 . 2
杉並区広報課

雪見灯籠のご寄付をいただきました

昭和戦前期に3度内閣総理大臣を務めた近衛文麿の旧宅であり、現在復原に向けた取り組みを進めている「荻外荘」。

かつて、この荻外荘敷地内に設置されていた雪見灯籠を所有されている尾高良江様より、その灯籠の寄付をいただいたことから、本日13時30分から、荻外荘建物内にて感謝状の贈呈式を行いました。

荻窪の閑静な住宅街にある「荻外荘（てきがいそう）」は、内閣総理大臣を3度務めた政治家・近衛文麿（このえふみまる）が、昭和12年の第一次内閣期から20年12月の自決に至る期間を過ごし、昭和前期の政治の転換点となる重要な会議を数多く行った場所で、平成28年3月1日には、日本政治史上、重要な場所として、国の史跡に指定されました。

区では、平成26年に当該地を購入し、豊島区へ移築された部分の再移築など、復原・公開に向けた取り組みを進めています。

昨年度、かつてこの荻外荘敷地内に設置されていた雪見灯籠を所有する尾高良江（おだかよしえ）さんから、世田谷区の自宅にある灯籠の寄付についてのご提案がありました。

この灯籠の設置年、作者、経緯などの詳細は不明ですが、昭和43年2月に荻外荘敷地内で撮影された写真に写っていたことから、荻外荘に設置されていたものと同一であると確認できたため、貴重な物件として受領させていただきました。

今回の寄付に伴い、10月2日（金）13時30分から荻外荘建物内にて贈呈式を開催し、感謝状を贈呈しました。感謝状を受け取った尾高さんは、「ぜひ公の場所に置いてもらい、ゆくゆくはいろいろな人に見てもらいたい。何より灯籠も（元の場所に帰ってきて）喜んでいると思う。」と話していました。



昭和43年当時の雪見灯籠



【問い合わせ先】

みどり公園課 荻外荘担当：03-3312-2111（内線3441）

総務部広報課：03-3312-2111（代表）